

一流は一流を 知る

画業60年を迎ながら、「私に安定の時機が訪れる事はないでしょう」と語り、新たな作品に挑み続ける日本画家・松尾 敏男氏。内面を追求し、死や不安をテーマとした初期の作品から、優しさを醸す乳白色を用いた独特の作品や、自然そのままの姿を描き込んだ作品…。その眼差しが、景色を、心象を、生命を写し出す。

絵のなかの世界へ

「一流とは」と考えると、ここで私は一流ではないということだけは、はつきりと申し上げなくてはなりません。私は自分が何者であるのかいまだ見出しができます。60年の画業においても、そしてこれからも、私は見えぬ存在に戦いを挑み続けるでしょう。絵とは、私にとっていつも大きな壁であり、乗り越えていく楽しみです。不安や恐怖に責められても、それを生きる喜びと感じられる幸福感をもって精一杯生きたいと思っています。



明け暮れた少年時代でした。ところが16歳の夏、急性ろく膜炎を発症。3ヶ月の間休学する事態になったことが私の人生を変えました。

それまで体を動かしていた私が、何もできなくなってしまったときに手にしたのが絵筆でした。体操の夢を打ち碎かれた自分を慰めるかのように、絵を描くのはとても楽しかった。そのおもしろさに目覚めた私は新井洞巣著『南画の描き方』を手に入れて見よう見まねで描いていると、ある日、不思議な感覚を味わいました。スッと自分が描いた絵

のなかに入っていくような、その絵のなかに自分が存在しているかのような錯覚に陥ったのです。その感覚に取り憑かれるようにして、私は絵の道を歩き始めました。

私は9人兄弟の末っ子として生まれました。兄たちの影響で絵はよく描いていましたが、何より夢中になつたのが器械体操でした。名門校に入学して、東京都大会で優勝するほど体操



自然に、素直に、そのまま描く。 つましく美しい、牡丹の花のように。

日本画家 松尾 敏男

(まつお・としお)

1926年、長崎県生まれ。絵画と体操競技に熱中する少年時代を経て、旧制中学卒業後、43年より日本画家・堅山南風に師事。49年、院展に「埴輪」が初入選して以後、日本美術院での活動を中心に作品を発表し続ける。題材は花鳥画や人物群像などから、中国・インド・ヨーロッパなど取材先を広げて模索、高度な技法や独自性、テーマ性が独特の世界をつくり上げ、特に乳白色が醸し出す画面の優しさや牡丹の作品は高い評価を受けている。院展初入選から60年を迎えた2010年、画業を一望する回顧展が全国4カ所で開催された。日本美術院同人、日本藝術院会員。文化功労者。09年より日本美術院理事長。

てくれました。それが日本美術院賞・大観賞をいただき、日本美術院同人に推举されることになりました。

戦後、死や不安と向き合つて描いてきた私にとって、それは記念的作品となりました。

私たちの世代は、すべてを投げ打ってでも戦争に行くこと、そして死ぬことを覚悟していました。私は不謹慎ながら、王音放送を聴いたときは「これで絵が描ける」と思ったのですが、その後も平和になる世の中とは裏腹に死への確信がありました。その感情

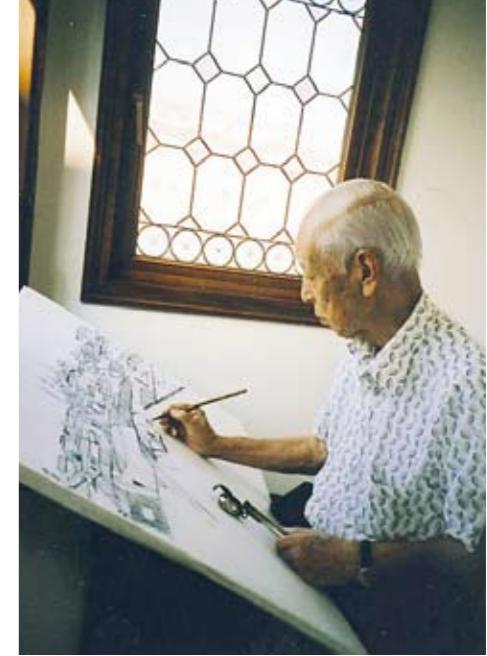
を忘れてはいけないと、ずっと思いを引きずりながら私は描いていました。

40代の半ばごろ、俵屋宗達が墨一色で描いた牛の絵を観ました。小さな画面のな

かで、牛は大きく存在していた。これが日本画なのか、こんなに深くて大きいもののかと驚きました。そのとき私のなかで、思想的、文学的に描こうとあくせくしていたものが、ふと消えたのです。日本画は、これでいいのだと。以来、自然に、素直に受けとめる気持ちが絵のなかに大きく広がるようになりました。写生においては勝手な解釈などしないで、素直に、そのままの形に写し変えていい。大事なことだけすくいとつて、ろ過するように私の心を通してただただ描いていく。それが大事なのだと、ごく当たり前のことに気が付きました。

牡丹の花のように

私は毎年のように福島の牡丹園に写生に出かけます。ある年、何日も雨が降り続いている止まないときがありま

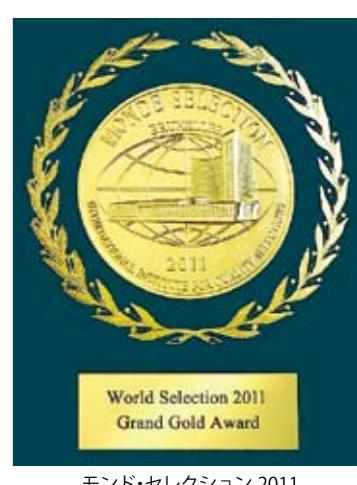
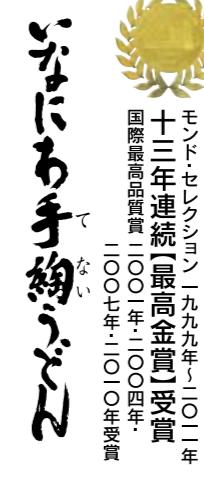


した。それでも何かをつかみたいと描き始めたところ、形が崩れながらも美しさを見せる牡丹の姿に魅了されました。湿った重い空気感を墨で表現し、水を含んだ牡丹の花の重なりを描いたのが『彩雨』です。堅山先生の『雨後』に魅せられた原点に、知らず知らずのうちに立ち戻ったのかもしれません。

牡丹の花は、他の花や雑草と比べて豪華で、きらびやかな花だと思われがちです。でもそれは牡丹そのものの罪ではありません。与えられた命はどれも等しく、運命を一生懸命に咲かせています。そんなにもつましい、ひたむきに生きる姿こそが本来の姿のだと思うのです。一流とは、そんな「品格」ある生き方だと思います。業績でも技術でもなく、それは情熱かもしれない、思いの強さのかもしれません。品格ある生き方を強く求め、それが現れている人に出会うと、「この方は一流だな」と感嘆し、私は尊敬するのです。



彩雨(2008年)



モンドセレクション 2011
最高金賞「ゴールドメダル」

全国各地への発送も承っております
お申し込みはフリーダイヤル(料金無料)をご利用ください
0120-1728-19
■通話料無料 ■承り時間／9時～17時(日曜・祝日を除く)
FAX0120-1728-46
■通話料無料 ■24時間受付

インターネットからもご購入いただけます <http://www.kanban.co.jp>
●お届け先1ヵ所につき商品合計額が5,250円(税込)以上は、送料無料です。
5,250円(税込)未満の場合は420円(税込)となります。
●お支払いは、郵便局・コンビニ・代引(手数料315円(税込))・クレジットカードでお願いします。
(21,000円以上お買上げの場合は、代引またはクレジットカードで)
●商品のお届けはご注文受付後、通常7日前後です。着日指定も承ります。
●ご不明な点は、左記フリーダイヤルまでお気軽にお問い合わせください。
●沖縄県、離島へのお届けの場合は、離島配送料金630円(税込)を、別途加算させていただきますのでご了承ください。

非効率主義
寛文五年堂

秋田県湯沢市稻庭町字三嶋34 TEL0183 (43) 2114・FAX0183 (43) 2855 URL <http://www.kanban.co.jp> ご注文専用 0120-1728-19 受付時間 9:00～17:00 (月～金)

■秋田市・秋田西武、秋田サティ、ジャスコ各店、藤木、秋田県産品プラザ(アトリオ地下1階)、秋田市民市場 加藤本店、石川酒店(トピコ2階) ■大館市・いとく大館ショッピングセンター、他各店 ■鹿角市・関小市商店 ■大仙市・タカヤナギ各店、大阪屋、停車場こまち ■横手市・横手サイ

■由利本荘市・イオンスーパー・センターア店 ■にかほ市・泉屋商店 ■仙北市・角館町・角館こだわり蔵 ■湯沢市・小川忠太郎商店、カドヤ ■東京銀座店/東京都中央区銀座七丁目6-5(石井紀州屋ビル1階) ■秋田キャッスルホテル店/秋田市中通一丁目3-5(秋田キャッスルホテル2階)